

## ロータリー一年表

1905	2月23日、シカゴ・ロータリークラブ創立
1906	シカゴ RC 定款制定及び改定。
1907	公衆便所設置運動（シカゴ RC）
1910	全国ロータリークラブ連合会結成、第一回全国大会。ロータリーの綱領制定。
1911	ロータリー宣言の結語として[ <b>He profits most who serves best</b> ]を採用。 機関誌ナショナル・ロータリアン誌発刊。
1912	国際ロータリークラブ連合会に改称。ロータリー・マーク制定 機関誌名をザ・ロータリアン誌に改称。 ロータリーの綱領改定
1913	水害救助拠金。身体障害児対策開始（シラキューズ RC）
1914	ロータリー旗制定。イギリスが B.A.R.C.結成。難民救援活動（イギリス・アイルランド）
1915	ロータリー倫理訓採択。 ロータリーの綱領改定。標準定款・模範細則採用。 District 制度及びガバナー制度制定。アディショナル正会員制度設定。 身体障害児対策を開始(トレード RC)
1916	<b>A talking knowledge of Rotary</b> 出版。 青少年活動委員会設立。出席競争開始
1917	アーチ・クランフ基金創設。身体障害児協会設立（トレード RC）
1918	戦争避難民救済資金募集（アメリカの各クラブ）
1919	国際協議会においてガバナー会議が開催される
1920	東京 RC 設立。青少年週間行事開始（ニューヨーク）。奨学金制度開始（アトランタ RC）
1921	アメリカ以外で最初の国際大会がスコットランド・エジンバラで開催、これを記念して、綱領に国際親善と平和の項目を加えることを決定
1922	国際ロータリーに改称。ロータリーの綱領・定款・細則改正。メイクアップ規定制定 R.I.B.I.地域運営が認められる。出席規定制定。大阪 RC 設立
1923	決議 23-34 採択。ロータリー記章制定。関東大震災見舞金が RI より送られる
1924	神戸・名古屋 RC 設立
1925	京都 RC 設立
1927	ベルギーのオステンド大会で、四大奉仕部門が設定される。
1928	日本が第 70 地区に設定される。ロータリー財団設立。 <b>The Meaning of Rotary</b> 出版
1930	ロータリー創立 25 周年。 パスト・サービス会員制度設定。青少年交換指針発表。
1931	ロータリー財団信託宣言。
1932	四つのテスト発表。[国の法律習慣に関する批判] を発表。
1933	レビスタ・ロータリアン発行。[ロータリアン間の取引関係] を発表。 国際大会で初めての規定審議会が開催される。 <b>Rotary ?</b> 出版
1934	[国事に関する方針の声明] を発表。ロータリーの綱領改正。 <b>This Rotarian Age</b> 出版。
1935	国家間訪問（ロータリー友情交換）プログラム設定。 大連宣言発表
1936	ドイツでクラブ解散。[国家有事中のロータリー活動] を発表
1937	イタリア・オーストリアでクラブ解散
1939	シニア会員制度設定。日満ロータリー連合会結成。

	国際身体障害者協会設立（エドガー・アレン）
1940	日本が RI 脱退。〔青少年への奉仕の目標〕を発表。
1942	チェスレイ・ペリーRI 事務総長退任。シニア会員をシニア・アクティブ会員に変更。 〔ロータリアンに対する事業上の援助と助言〕を発表。
1945	国連憲章起草に参画。ロータリー財団の目標設定。
1946	米山梅吉、福島喜三次逝去。ロータリー財団奨学生制度計画発表。
1947	ポール・ハリス逝去。ロータリー財団奨学生制度実施。第一回復協議会開催。
1948	[Service is my Business][My Road to Rotary] 出版。
1949	東京・大阪・京都・名古屋・神戸・福岡・札幌 RC が RI 復帰。ドイツが R I 復帰。
1950	[He profits most who serves best] [Service above self] を正式標語に決定。
1951	中華人民共和国 RI 離脱。RI 加盟認証番号を廃止。 ロータリーの綱領[ Objects ]を [ Object ]に変更。最初のロータリー財団奨学生来日。
1952	日本 2 地区に分割
1953	ロータリーの友創刊。東京 RC が米山奨学金制度設立
1954	四つのテスト版権が RI に寄贈される。エバンストンに中央事務局完成
1955	ロータリー創立 50 周年。ロータリー財団の目標改正。 シニア・アクティブ会員制度一部改正。日本 4 地区に分割
1956	ロータリー財団週間制定
1957	ロータリー米山記念奨学会設立。日本 5 地区に分割
1958	世界理解週間制定
1959	財団奨学生の目的を国際理解に変更。 [ Seven Paths to Peace ]出版。日本 6 地区に分割
1960	日本 7 地区に分割
1961	インターアクト・クラブ提唱。日本 8 地区に分割
1962	インターアクト・クラブ設立（フロリダ）。WCS プログラム発足
1963	〔国際ロータリーの基本方針〕〔ロータリーの基本的特色〕を発表 仙台に日本最初のインターアクト・クラブ設立
1964	シニア・アクティブ会員、アディショナル会員制度一部改正
1965	ロータリー財団プログラム改正。日本 11 地区に分割
1966	職業分類指針制定。最初の研究グループ交換来日。
1967	財団法人米山記念奨学会設立。地区出席競争制定。日本 13 地区に分割
1968	海外ロータリー・ボランティア制度発足。世界親睦活動発足 ローターアクト・クラブ設立。居住地会員制度設定。 アーチ・クラフ賞設定。日本 14 地区に分割
1969	青少年活動週間設定。地区幹事・地区会計制度設定
1970	規定審議会を RI の立法機関とすることを決定。 シニア・アクティブ会員制度一部改正。日本 17 地区に分割
1971	公害防止の指針発表。ロータリー財団に心身障害者教師の奨学金を設定 ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）設立。日本 18 地区に分割
1972	〔環境の改善〕を発表。
1973	意義ある業績賞を制定。日本 20 地区に分割
1974	環境保全と資源問題の委員会設置。
1975	〔国法の遵守〕を発表。ロータリーの友英語版創刊
1976	マッチド・クラブ制度復活。〔ロータリーの目的〕発表 ジャーナリストのためのロータリー財団奨学金制定

1977	日本 22 地区に分割
1978	3-Hプログラム制定。日本 23 地区に分割
1979	職業奉仕週間新設
1980	ロータリー創立 75 周年。ロータリー国際平和賞を制定。 ロータリーの友公式地域誌に認定。日本 24 地区に分割
1981	RI 日本支局開設
1982	日本 26 地区に分割
1984	[ロータリーの基本的特色] [ロータリーの定義] を改正
1985	ポリオ・プラス運動開始。日本 27 地区に分割
1987	[職業奉仕に関する声明] を発表。日本 28 地区に分割
1988	[他団体への協力] を発表。ロータリー理解推進月間・会員増強拡大月間新設。
1989	[職業宣言] を発表。女性会員入会。日本 30 地区に分割
1990	[子供の権利] を発表。ロータリー財団寄付シェア・システムに改正 われらの天体、地球プログラム発表
1991	[国際ロータリーの使命] を発表。日本 31 地区に分割
1992	[社会奉仕に関する声明(決議 92-286)] [環境保全(決議 92-287)]を 発表。ロータリー財団プログラム改正。日本 33 地区に分割 アディショナル正会員制度一部改正
1993	世界社会奉仕の目標発表。ロータリー財団ジャパン・プログラム開始
1995	メイクアップ期間の延長。ロータリー・ワールド発刊 ゾーン制度改正。パスト・サービス会員資格改正
1996	新世代会議開催。女性のニーズに応えるロータリー活動声明を採択
1997	ニューリーダーシップ・プランの採用
1998	出席免除適用規定改正
2000	ロータリーの IT 革命。
2001	一人一業種制廃止。 正会員と名誉会員に統合・シニア、パスト、アディショナル会員廃止。 メイクアップ規定の改正 サイバークラブ認可
2003	ロータリー・ファミリー
2004	大阪国際大会開催 They profit most who serve best に変更
2005	ロータリー創立 100 周年。 クラブ・リーダーシップ・プランの採用
2007	会員資格の変更(財団学友・地域社会活動家)。 出席義務の緩和
2010	新世代奉仕が加わり五大奉仕となる。 One profit most who serves best に変更